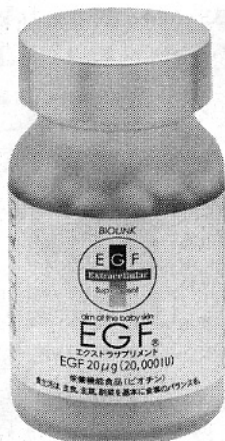


EGFをサプリに応用

バイオリンク販売

OEMにも対応

EGF化粧品とあわせ「内外美容」で訴求



初年度5万個の
売上目指す

(株)バイオリンク販売(大

阪市中央区)は、このほど皮膚の新陳代謝を高めることで美肌効果が期待できる機能性化粧品素材として知られる、「EGF」をサプリメントに応用開発し、自社ブランド製品の販売とともに、OEMを開始した。発酵製法によるEGFを配合している。一瓶一八〇粒当たり二〇ミリのEGFを配合しており、一日当たり摂取目安量九粒で、一ヶ月のEGFが摂取できる。ピオチンも配合し、栄養機能

食品とした。すでに複数社へOEMが決定しており、初年度販売個数として五万個以上を目指したい考え。末端価格、八四〇〇円(税込)で市場に提案する。EGFは五三個のアミノ酸が結合したポリペプチドで、上皮細胞成長因子とも呼ばれるタンパク質の一種。米国で実施された臨床試験は、〇・一ミリのEGF配合クリームを六〇日間塗布することで、皮膚の新生細胞の成長素を

平均二八四%促進させたと報告している。

またEGFは、ヒトでは皮膚、粘膜、唾液などに含まれ、特に母乳の初乳には一〇〇ミリの当たり約一五ミ

と多く、EGFが含まれるとされ、高級食材として知られるツバメの巣にも微量含まれている。

同社によると、今回開発したEGF配合サプリで摂取できる一日当たりのEGFは、健康なヒトが一日に分泌する唾液とほぼ同量で、ツバメの巣約一〇〇個分に相当する。今後、OEM展開もしているEGF配合化粧品とあわせ、内外美容による市場展開を提案していく方針だ。

同社は〇五年にEGF配合化粧品を日本で初めて市場に導入し、これまでに〇

EMも含め六〇万個以上のEGF配合化粧品の販売実績がある。生物活性を規格したEGFを使用していることなどで差別化している。

「EGFの認知度が高まるにつれ、〇六年に入ってからEGF配合サプリメントへの引き合いも多かった(同社、辻大作社長)といい、これを受け、食品利用が可能なEGFを検討し、昨年十二月にEGF配合ドリンクを発売している。

同社では、EGF配合サプリ一日分を包装し、手軽な摂取で提案する、アルミ分包タイプ(九粒入り、四二〇円)を十一月中にも発売する予定という。